

No.6 別紙

1 活動名 薪ボイラー・木の駅視察

2 研修の目的

(1) 本市における課題

2050ゼロカーボンシティに向けて、バイオマスエネルギーはひとつの重要なテーマである

(2) 研修の必要性

バイオマスエネルギーの可能性、実行性を研究することは必要

(3) 研修項目 研修内容に同じ

3 研修内容

(1) 日時 令和3年8月25日（水）

(2) 会場 安曇野市・筑北村

(3) 出席者 1名 神津ゆかり

(4) 内容

①安曇野市「しゃくなげ荘」薪ボイラー 薪生産・作業場見学 ②筑北村 わっこ谷の山福農林舎 西条温泉とくら（薪ボイラー）

(5) 成果・所感等

安曇野市公営入浴施設しゃくなげ荘の給湯システムには、薪ボイラーが導入されている。枯れたアカマツから薪を生産し、提供している。森林整備と二酸化炭素削減、薪づくりを中心とした地域づくりをめざして導入された。重油だけでお湯を作るよりは、ハイブリッドでお湯を作る方が、機器の不具合が起きた場合には補完できるし、重油燃料代を抑えるというコスト面でも寄与している。

筑北村で材木生産、薪生産をされている山福農林舎さん。山中の作業場で、障がいのある方々といっしょに製材や薪づくりをされている。西条温泉とくらの薪ボイラーの管理、整備も任されており、定期的にボイラーの運転、整備、薪の供給をおこなっている。

2カ所とも、地元産材を利用した薪を使用しており、薪置き場が、地元の「風景」となっていることが興味深かった。

4 政務活動費

(1) 使途項目 研究研修費

(2) 参加費 3571円